

## 2 「関連指標」の評価一覧

【評価基準】  
 A: 目標値を達成している  
 B: 現在の取り組みを継続、拡大すれば目標値を達成できる  
 C: 現在のままでは目標値の達成が困難と考えられるため、改善措置を講じる必要がある  
 D: 目標を達成していない  
 Z: 今年度は評価ができない

分野	展開方針	指標	目標（目標年度）	現状値	平成23年度		所管課
					実績	評価	
自然環境	1.あきる野市の自然を知る 2.あきる野市の自然を守る	「あきる野百景」の認知度 (アンケート調査等で把握)	70% (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～環境政策課)
		あきる野版RD種の認知度 (アンケート調査等で把握)	70% (平成27年度)	—	あきる野版RD種が選定されていない。	Z	環境課 (H24～環境政策課)
		市内の緑地面積	現状維持	—	5775.23ha	A	都市計画課
生活環境	1.美しい川を守り育む	「清流」に対する市民満足度 (アンケート調査等で把握)	70ポイント (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～生活環境課)
		生活排水処理率	88.7% (平成27年度)	83% (平成16年度)	92%	A	下水道課
		下水道接続率	98% (平成27年度)	87% (平成16年度)	96%	B	下水道課
		ホテルが見られる水辺の箇所数	現状以上 (現状を把握の上)	不明	約30か所	Z	環境課 (H24～生活環境課)
					把握していない	Z	建設課
		ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数	7団体 (平成27年度)	3団体 (平成16年度)	5団体 (菅生地区での委託事業と養沢活性化委員会のホテル部会を含む。)	D	環境課 (H22まで) 環境の森推進室 (H23～) (H24～環境政策課)
	川とのふれあいマナー実践度	60% (平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～生活環境課)	
				把握していない	Z	商工観光課 (H24～観光商工課)	
	2.農地・農業を守る	農産物直売所数	3件 (平成19年度)	2件 (平成16年度)	平成19年度に秋川渓谷瀬音の湯「朝露」が開設され、目標を達成している。	A	農林課
		あきる野産の農産物 (あきる野ブランド) 等の数	4件 (平成22年度)	2件 (平成16年度)	関東東海花店にあきる野産の花弁を出品した。	D	農林課
		地元野菜の活用件数	—	0件 (平成16年度)	学校給食での使用を検討した。	B	農林課
		生産緑地指定面積	現状以上	79.48ha (平成16年度)	73.08ha	B	都市計画課

分野	展開方針	指標	目標(目標年度)	現状値	平成23年度		所管課
					実績	評価	
生活環境	3.資源を循環させる	「へらすぞう」の発行回数	年間4回発行(平成27年度)	1回発行(平成16年度)	1回発行	D	環境課 (H24～生活環境課)
		市民一人一日当たりのごみ排出量	平成16年度比10%減(平成27年度)	893g(平成16年度)	792.5g	Z	環境課 (H24～生活環境課)
		市民一人当たり年間ごみ処理負担費	—	16,406円(平成16年度)	現段階では算出していない。	Z	環境課 (H24～生活環境課)
	4.美しいまちをつくる	街並み・景観に関する市民満足度 (アンケート調査等で把握)	30ポイント(平成27年度)	—	50.85%	A	都市計画課
		土地区画整理事業による街並み整備か所数	10か所(平成27年度)	7か所(平成19年度)	実施予定箇所8か所 現在1か所にて事業計画中	Z	区画整理推進室 都市計画課
		「歩きたくなる」みちの箇所数 (アンケート調査等により把握)	—	—	実施していない	Z	商工観光課 (H24～観光商工課)
		市民や来訪者の「歩きたくなる」度 (アンケート調査等で把握)	70ポイント(平成27年度)	—	把握していない	Z	建設課
		たばこ・ごみのポイ捨てに係る市民満足度 (アンケート調査等で把握)	70ポイント(平成27年度)	—	把握していない	Z	環境課 (H24～環境政策課)
		一斉清掃の実施回数、参加者数	現状維持	年2回、延べ28,898人 (平成16年度)	年2回 春、秋に実施 延べ30,779人	A	環境課 (H24～生活環境課)
		エネルギー環境	1.省エネルギーの推進 2.新エネルギー(バイオマス技術)の導入	地球温暖化に関する環境教育実施校数	市内全校	未実施	小中学校全校で実施している。
家庭での電力使用量	平成15年度比5%減(平成27年度)			148,947MWh (平成15年度)	電力使用量での把握はできていない。 (参考) 市内の家庭からの二酸化炭素排出量 80.7千トン-CO2(平成21年度) ※出典: オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果: 多摩地域の温室効果ガス排出量(1990年度～2009年度)	Z	環境課 (H24～環境政策課)
環境家計簿等の普及状況、モニター登録者数	モニター登録100人(平成27年度)			—	92人	B	環境課 (H24～環境政策課)
省エネ生活10か条の認知度、定着状況 (アンケート調査等で把握)	50%(平成22年度) 80%(平成27年度)			—	把握していない	Z	環境課 (H24～環境政策課)
エコドライブ実践状況 (アンケート調査等で把握)	70%(平成27年度)			—	把握していない	Z	環境課 (H24～環境政策課)